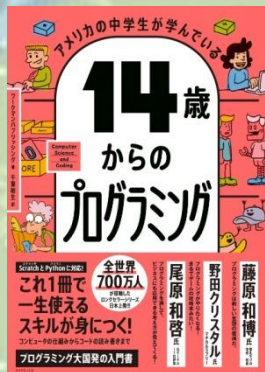


情報の海、デジタルの波を乗りこなせ!!

—情報リテラシーを身につけるために—



『アメリカの中学生が学んでいる
14歳からのプログラミング』
ワークマンパブリッシング/著
「クラスで一番あたまのいい同級生」が貸してくれ
たオールカラーのイラスト&手書きノート式デザインの本です。コンピュータ科学から始まり、Scratch、Pythonとプログラミングの基礎を学んでいきます。表記も、黄色は新出用語、下線はキーポイントなど内容がわかりやすく整理されており、プログラミング入門には最適です。

『SNS別最新著作権入門』 井上拓/著

現役弁護士であり、YouTuberでもある筆者が具体例を挙げながら SNS に特化した著作権や利用規約の最新情報を解説してくれます。簡単に利用できるツールだからこそトラブルも他人事ではありません。誰もが被害者にも加害者にもなる時代だからこそ楽しいだけじゃない怖い面も知っておくことは重要です。



2022年4月から高等学校では「情報」が共通必修科目となり、共通テストでも2025年1月からプログラミングを含む「情報」が出題される予定となっています。情報化、グローバル化の進展する時代の流れは加速化しています。これから生きる皆さんは、デジタルの海に溺れないように、正しい情報、ぶれない事実を読み取り、自分だけでなく他の人達の身を守り、名誉を守っていきましょう!

『Python1年生』 森巧尚/著

Python ってなに? というプログラミング超初心者の人に、ヤギ博士とフタバちゃんが対話形式で解説しています。初歩から丁寧に説明することでプログラミングを体験することができ、Pythonのしくみを学べます。イラストも多く、分かりやすい工夫が随所にされている本です。

『14歳からのプログラミング』 千葉滋/著

プログラミングを学ぶには、まず簡単なプログラムを書いてみるのが一番だと著者は言います。プログラミングを学ぶと自分のアイデアでゲームを作ったり、スマホのアプリを作ることもできます。初心者が挫折しやすいところも丁寧に解説しており、Scratchから本格言語への懸け橋としても参考になりますね。

